



平成 23 年 11 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 T B グループ
 代表者名 代表取締役会長兼社長 村田三郎
 コード番号 6775 東証第 2 部
 問合せ先 取締役経営管理本部長 信岡孝一
 (TEL. 03 - 5684 - 2321)

平成 24 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 (連結・個別) 業績予想と実績値との差異
 及び通期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 5 月 31 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日) の業績予想との差異及び平成 24 年 3 月期通期 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) の業績予想を下記の通りといたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想

平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値と実績値との差異 (平成 23 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 9 月 30 日)
 (金額の単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	2, 3 0 0	△ 5 0	△ 6 0	4 0	0. 5 6
実 績 値 (B)	2, 1 3 6	△ 2 1 3	△ 1 9 8	△ 1 0 9	△ 1. 5 3
差 額 (B-A)	△ 1 6 4	△ 1 6 3	△ 1 3 8	△ 1 4 9	—
差 額 率 (%)	△ 7. 1	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	2, 5 0 6	△ 9 0	△ 1 1 2	△ 1 2 1	△ 1. 6 9

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日)
 (金額の単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	5, 0 0 0	2 0	0	1 0 0	1. 3 9
今 回 修 正 予 想 (B)	4, 5 3 0	△ 2 0 0	△ 1 8 0	△ 9 0	△ 1. 2 5
増 減 額 (B-A)	△ 4 7 0	△ 2 2 0	△ 1 8 0	△ 1 9 0	—
増 減 率 (%)	△ 9. 4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	4, 2 9 9	△ 2 9 3	△ 3 2 3	△ 4 0 6	△ 5. 6 6

平成 24 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値と実績値との差異（平成 23 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 9 月 30 日）
（金額の単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,150	△20	△25	80	1.11
実績値 (B)	1,079	△127	△89	△65	△0.92
差額 (B-A)	△71	△107	△64	△145	—
差額率 (%)	△6.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	1,497	△31	△44	64	0.90

平成 24 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日）
（金額の単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,300	△20	△25	80	1.11
今回修正予想 (B)	2,096	△122	△87	△63	△0.87
増減額 (B-A)	△204	△102	△62	△143	—
増減率 (%)	△8.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	2,546	△83	△90	63	0.88

●第 2 四半期累計期間との差異及び通期業績予想の修正の理由

当第 2 四半期累計期間の連結・個別の業績における売上高は、東日本大震災の影響で関東以北における主力市場である中小料飲食店市場の急激な冷え込みと電力総量規制による LED 看板市場の低迷により大幅に減少いたしました。また、その影響を受けた既存販売会社の倒産による売上高減少も加わりました。

一方、利益面では、売上高の減少による粗利額の減少と、サービスパーツの圧縮および商品棄損に伴い商品の評価損・廃棄損計上（約 45 百万円）を行った結果、営業損失が拡大しました。経常損失につきましてもその影響を受けました。特別損失につきましては、販売会社の事業再構築による債権整理に伴う構造改革費用、投資有価証券売却損等を計上した結果、四半期純損失も拡大しました。

なお、通期予測も当初予測より下方修正いたします。引き続き東日本大震災の影響を受け売上高は減少いたします。利益面では事業の再構築および利益体質の強化の結果営業収益は大幅改善の見込みです。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。